

# 2010 年度 前期 授業 評価 報告

仙台白百合女子大学教育・研究推進委員会

2010 年度も 2009 年度に引き続き、図 1 の「学生による授業アンケート」用紙を用いて、学生による授業評価を実施した。2010 年度前期は 261 科目について実施し、受講者数 11,291 人（延べ人数）のうち、9,439 人から回答を得た（回答率 83.6%）。

## 学生による授業アンケート

仙台白百合女子大学 F D 委員会

このアンケートは、授業担当者が学生の皆さんと共に授業の改善を図るために実施するものです。各設問について、あなたの評価を次のような 5 点法でマークしてください。なお、このアンケートは、成績評価には一切関係ありません。

時間割コード番号 ( )

科目名 ( )

【記入上の注意事項】

1. 記入には、かならず HB の鉛筆を使用してください。

2. マークの記入は、下記の「良いマーク」例に従ってください。

良いマーク ● 悪いマーク / \ ✓ ⊙ ⊙

3. 訂正はプラスチック消しゴムできれいに消して、くずは残さないようにしてください。

4. 紙面は汚したり、折り曲げたりしないでください。

5 : 「非常にそう思う」      4 : 「ややそう思う」      3 : 「どちらとも言えない」

2 : 「あまりそう思わない」      1 : 「全くそう思わない」

**I あなたの所属学科と学年（1～4年）を教えてください。**

学科  人間発達学科     総合福祉学科     健康栄養学科     国際教養学科     その他

学年  1 学年     2 学年     3 学年     4 学年     その他

**II この授業に対するあなた自身のことについて教えてください。**

1	この授業を履修するにあたって、予習・復習をしましたか。	⑤	④	③	②	①
2	積極的に興味や関心をもって授業に参加しましたか。	⑤	④	③	②	①
3	授業では私語を慎んでいましたか。	⑤	④	③	②	①
4	授業に遅刻しないようにしていましたか。	⑤	④	③	②	①
5	あなたはこの授業にどのくらい出席しましたか。	⑤	④	③	②	①
		⑤: 100%	④: ~80%	③: ~60%	②: ~40%	①: 40%未満

**III この授業について教えてください。**

**授業の計画性について**

1	授業を履修するにあたって、「シラバス」は役に立ちましたか。	⑤	④	③	②	①
2	「ねらい」をはっきり示し、系統的に進められた授業でしたか。	⑤	④	③	②	①
3	教科書や参考書等教材の指定が適切で、十分に活用されていましたか。	⑤	④	③	②	①

**授業の内容について**

4	授業は十分に準備され、よく整理されていたと思いますか。	⑤	④	③	②	①
5	あなたは授業内容をよく理解できましたか。	⑤	④	③	②	①
6	授業内容や教材のレベルは適切なものでしたか。	⑤	④	③	②	①

**授業の仕方について**

7	教員の「話し方」は聞き取り易かったですか。	⑤	④	③	②	①
8	資料配布や視聴覚機器使用など情報提供の方法は適切でしたか。	⑤	④	③	②	①
9	授業の開始、終了は時間どおりに行われましたか。	⑤	④	③	②	①

**成績評価や授業環境について**

10	成績評価の基準や、評価の仕方についての説明は明確でしたか。	⑤	④	③	②	①
11	使用教室の授業環境（広さ・設備等）は適切でしたか。	⑤	④	③	②	①
12	私語などが規制されていて、授業に集中できる環境でしたか。	⑤	④	③	②	①

**IV この授業について良かった点を記入してください。**

**V この授業がより良いものになるために、特に要望事項があれば記入してください。**

仙台白百合女子大学

図 1 「学生による授業評価アンケート」の用紙

2009 年度前期（256 科目）、後期（218 科目）、そして 2010 年度前期（261 科目）の各分野の平均点を表 1（図 2）に示す。図 2 を見てわかるように、学生による授業評価は全体的によくになっている傾向があるものと思われる。2010 年度後期も継続的に学生による授業評価アンケートを実施し、授業改善の動向を調査していきたい。

表1 分野別授業評価結果の推移

分野	2009前期	2009後期	2010前期
あなた自身	3.9	3.9	4.0
授業の計画性	3.7	3.7	3.8
授業の内容	3.8	3.8	3.9
授業の仕方	4.1	4.0	4.1
成績評価や授業環境	4.0	4.0	4.1

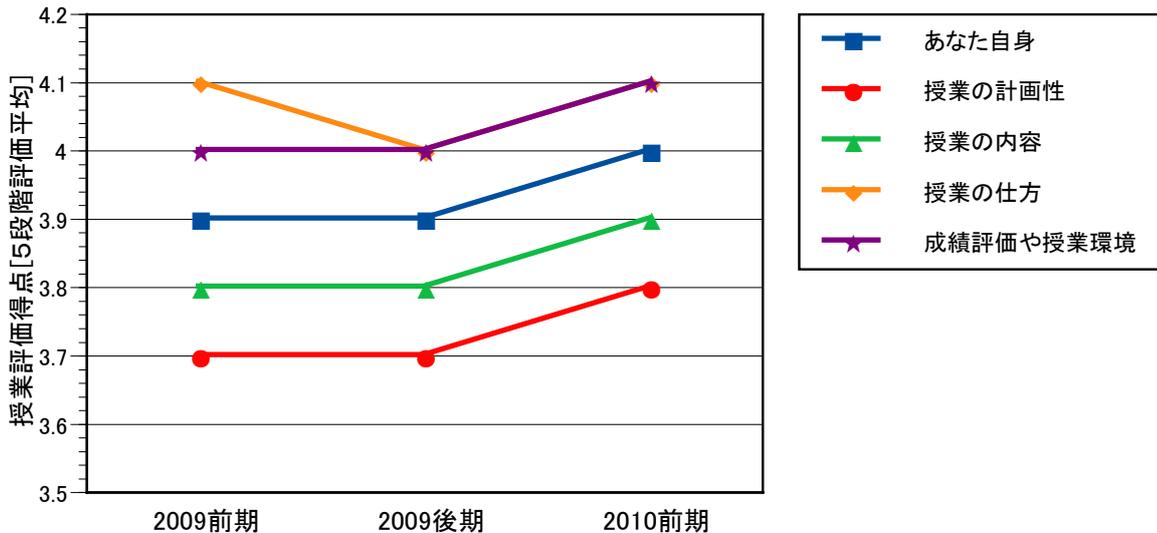


図2 分野別授業評価結果の推移(2009前期-2010前期)

なお、受講人数別での各分野の評価を見てみると、表2のような結果となり、これをグラフにすると図3のような右下がりの傾向のあることが分かる。これは、2009年度でも見られた傾向であり、受講人数の少ない授業のほうが学生の評価が高くなるというもので、一般的にもよく見られる傾向である。本学では、受講生が100人を超えるような授業は少なく、その受講生総人数も全体の4.0%と少ないが、「61～100人」という人数の授業は、科目数では全体の17.2%でありながら、受講生総人数では全体の31.4%を占めるため、授業に対する学生の理解度・満足度を上げるという観点からも、この人数域の授業においても学生による授業評価アンケートの結果が落ち込まぬよう、何らかの対策・努力をしていかなければならないものと考えられた。

表2 受講人数別授業評価結果

分野	1～10人	11～30人	31～60人	61～100人	101人～
あなた自身	4.3	4.0	4.0	3.9	3.9
授業の計画性	4.3	3.9	3.9	3.6	3.6
授業の内容	4.4	4.1	4.0	3.6	3.6
授業の仕方	4.5	4.3	4.2	3.9	3.7
成績評価や授業環境	4.5	4.3	4.2	3.9	3.9

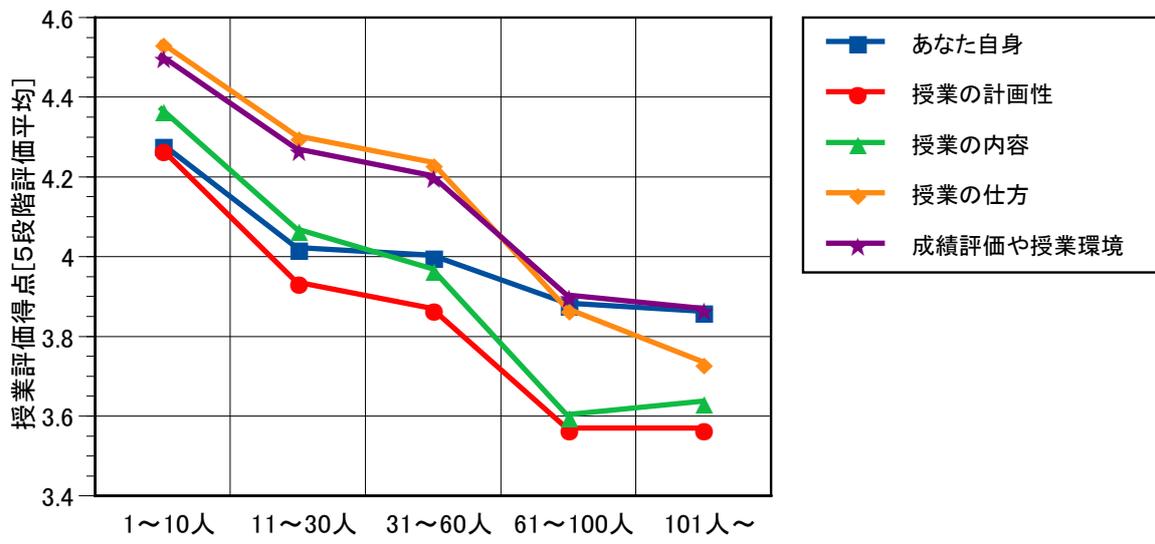


図3 受講人数別授業評価結果